

あかね



地区総体終わる

今週の8日(火)～9日(水)に地区総体が開催され、本校からも13の部活動が参加しました。

今回は新型コロナウイルス感染症対策を講じての実施となり、保護者の応援も各部活で一人の制限がつかしました。1年生の参加も、声を出しての応援もできませんでした。3年生の保護者の皆様におかれましては、残念な気持ちもあったと思いますが、コロナ禍の中、3年生にとって最後の大会ができたことは、有り難いことであったと思います。

県総体への出場権を得た部活動生は、後1ヶ月鍛錬の時間を得ました。夏の大会は暑さとの勝負でもありますので、熱中症対策を講じながら暑さに体を慣らせ、耐える体力も身に付けなければなりません。仲間とともに練習できることに感謝し、励んでほしいと思います。

残念ながら部活動の締めくくりを迎えた3年生の皆さんは、部活動で培った心と体力を自分の進路の実現や日常生活で発揮することとなります。何よりも大事なものは、人間づくりですので、3カ年部活動をやり抜いた成果を、後輩に示してほしいと思います。以下、大会結果を紹介いたします。(全競技の写真が無くすみません。)



【団体の部】

優勝 女子卓球団体 女子ソフトボール

準優勝 剣道男子団体 男子庭球団体
女子庭球団体 女子バレー

3位 剣道女子団体
男子卓球団体(県)
サッカー 男子バスケ

4位 女子バスケ
柔道男子団体(県)

野 球: 2回戦敗退(V S 川内中央)

男子バレー: 総当たり戦
1勝4敗

※ 準優勝までのチームと(県)は県総体進出

【個人の部】

女子卓球

- 1位 児玉 2位 水野
- 3位 椛島 4位 杉園
- 5位 菖蒲谷
- 6位 田仲 7位 増田
- 8位 尾崎 9位 梅木
- 11位 水谷 12位 三浦
- 13位 櫻木 16位 永石

男卓球

- 7位 山下 8位 伊澤
- 10位 室田 11位 高桑

男子庭球

- 1位 小田原・古川ペア

女子庭球

- 3位 元島・下萬ペア

剣道 男子3位 今村

- 柔道 50kg級 3位 岩下
- 60kg級 3位 大石田
- 81kg級 2位 坂口



※ 個人の部、紹介の全て県総体進出

地域でも元気の良い先手のあいさつをしよう!

何を目指し極めるか

去る5月28日(金)、前期生徒総会が実施されました。コロナウイルス感染症対策のためリモートでの開催となり、生徒会本部役員はパソコン室と教室を行ったり来たりと大活躍でした。

生徒会長のあいさつに始まり、3年生の諏訪元くん、丸山さんの議長の下、R2年度後期・R3年度前期の活動目標の中間反省、R2年度後期の活動報告・R3年度前期の活動計画、R2年度の決算報告・R3年度の予算案と進み、最後に各学級で①「給食の準備・片付け遅れ0を継続させ、充実した給食時間を過ごすためにどうすれば良いか。」と②「新学習の心構え」について討議しました。

新 学習の心構え

- 1 1分前着席を心がけ、次の授業の準備をしよう。
- 2 「立腰」を意識し、「話す」・「聞く」・「書く」のけじめをつけよう。
- 3 お互いに声を掛け合い、学習に集中できる環境をつくろう。
- 4 話す人にしっかりと体を向け、最後まで良く聞き、反応を示そう。
- 5 分からないことは質問したり、教えあったりして、お互いに高めあおう。

各学級の討議の様子を参観したところ、学年に応じた話し合いがなされ、真剣に取り組んでいる様子が伺われました。また、制汗剤の利用について要望も出ましたので、ルール作りも含め今後検討していきます。

講評では、生徒会活動目標の意義について話しました。

生徒会活動目標

- 1 授業に集中して取り組める北中生
- 2 あいさつのできる北中生
- 3 学校の外でもルールを守ることできる北中生

これからの予測困難な時代を生き抜く将来の大人である今の中学生にどれも必要な視点ですが、特に大事であるのは3つ目の目標だと思えます。誰が見ていなくても、正しい行動ができる人には嘘がありません。昔から「お天道様が見ている。」と言われるとおり、自分に正直でありたいと思います。便利な世の中になるにつれ、その便利さを悪いことに使う大人が出てきます。「自分さえ良ければ」との考えでなく、みんなのことを思う行動が、ルールとマナーです。北中生徒会の一員として、学校内外で胸を張れる一人一人であってほしいものです。



先輩の姿に学ぶ

5月17日(月)から先週の4日(金)まで、本校卒業生2名が教育実習に帰ってきていました(現在社会科の実習生一人が来週末まで)。教育実習の最終日、校長室に挨拶に来られた際、「久しぶりの母校はどうでしたか?」と尋ねると、二人揃って「やっぱり母校は温かくて、いいですね。」と即答されました。授業等で接する機会は限られていたかもしれませんが、実習に励む先輩の姿に何か学んでくれたら幸いです。



教育実習を終えて

教育実習の3週間、ご尽力いただいた先生方、また、関わっていただいた生徒の皆さんに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。この3週間で、教師として大切なこと、また、生徒の皆さんからたくさんのお話を学ぶことができました。これから学んだことを生かして、教師としての資質向上に努めて参ります。

須留原 宏太郎(理科・創価大学)

教育実習の3週間を終え、教師になるためのいろいろな勉強ができました。新型コロナウイルスの影響で、生徒の皆さんとコミュニケーションを取る時間がとれず残念でした。もっとみんなと話したかったです。この教育実習でお世話になった先生方、生徒の皆さんありがとうございました。

堂免 龍真(音学・鹿児島国際大学)

きらり北中生

先月の28日(金)に参加した可愛地区コミュニティ協議会第1回青少年部会に参加した際、地域の方から次のようなお話をお伺いしました。

毎朝、陸橋のところで交通指導をしているのですが、北中の生徒さんがいつも笑顔であいさつしてくれます。朝から元気をもらって嬉しいです。

週末の疲れも吹っ飛ばす嬉しいお話でした。地域の子どものためにボランティアで登校指導してくださっている方々をはじめ、多くの方々が私たちを見守ってくださっています。たかがあいさつ、されどあいさつ。地域の方々に元気を届ける行動のできる北中生、今号の「きらり」です。



21日(月)より期末テスト、先んずれば制す。